

資料3-1-12 物理環境実験施設

〈中野キャンパス ～2009年度〉 共通実験室

B棟地下（120m²）1982年度設置。

1981年のC棟の建設に伴い、共通室の再編成が行われ、B棟地下のピロティの整備に関連して、1982年にB棟地下に、主に物理・生物環境に関わる室内実験的研究を行うための共通施設として共通実験室が設立された。共通実験室には、地球の自転に伴うコリオリ力が海洋・大気中の様々な現象について及ぼす影響を解明するための大型回転台（直径1.5m、回転数0～15rpm）、密度成層の効果を調べる実験水槽等が整備され、実験に必要な室温制御のための空調設備が設置された。

〈柏キャンパス〉 物理環境実験施設

6階（57m²）2010年度設置。

大型回転台を始めとした中野キャンパスから移設された設備と新たに整備した空調設備を備え、地球の回転によるコリオリ力や密度成層の効果の効いた大規模な大気・海洋の運動とその生物環境への影響などを調べる室内実験を行うことができる。簡易型水槽を設置して、海洋中でのグライダー機器の調整等にも利用している。

● 物理環境実験施設設置機器一覧

機器名	メーカー	型番号	購入年度
回転実験装置	伊勢屋機械製作所		1981